

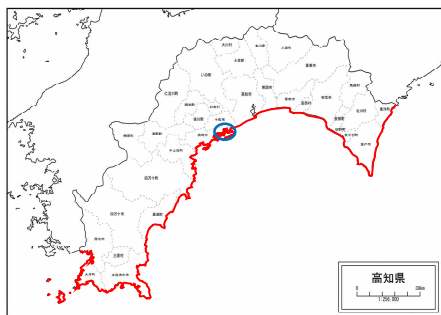
高知県海域藻場・干潟ビジョン（暫定版）

【藻場・干潟の保全・創造に向けた対策の実施箇所及び対策の内容】

魚類などの様々な動物の産卵場、保育場、隠れ場、生息場となっているばかりでなく、二酸化炭素の固定や窒素・リンの吸収といった海域環境へ果たす役割を持つ藻場や干潟の保全・創造に向けて、ウニ類の食圧抑制など地域の実情に応じた対策を講じる

【藻場・干潟の衰退要因に応じたハード・ソフト対策】

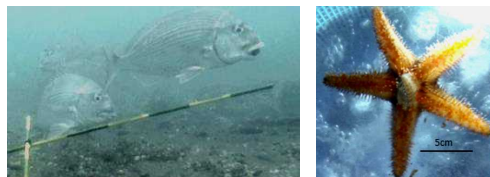
対象の地域



藻場：－
干潟：○

干潟（アサリ資源）

衰退要因



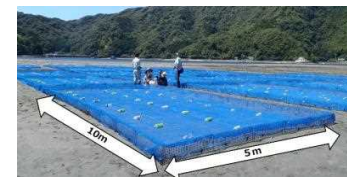
・魚類（クロダイ等）、ヒトデ、カニ等による食害

対策の実施対象種



・アサリ

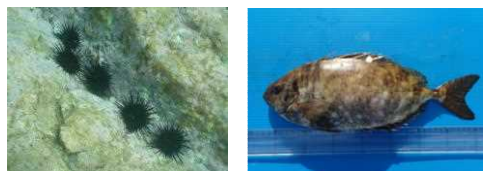
ソフト対策



・食害を防ぐ被覆網の設置

藻 場

衰退要因



・ウニ類の食害
・水温の上昇
・栄養塩の欠乏 など

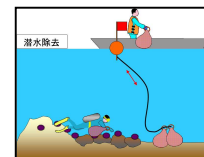
対策の実施対象種



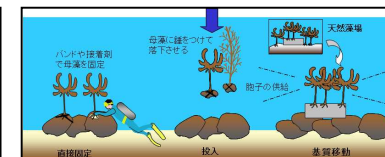
・カジメ
・アマモ、アオサ、テングサ など

対 策

●ソフト対策



・潜水によるウニ除去



・母藻の設置

・網漁業による
魚類除去 など

●ハード対策

国等が行う藻場形成技術開発の状況も踏まえて、本県において効果が見込める対策について、ソフト対策と一体的に対策を実施

モニタリング体制

●藻場

調査対象海域	調査範囲	調査項目	調査頻度
・藻場を保全・創造する海域（多面等ソフト事業、公共事業）	・活動面積（多面等ソフト事業） ・漁場開発面積（公共事業）	・藻場面積、藻場種類、被度 ・磯焼けの状況（食害、枯死、堆積物など）	・年1回以上（繁殖期含む）
・海域全体	・海域全体	・藻場面積、藻場種類	・5年に1回以上

●干潟・浅場

調査対象海域	調査範囲	調査項目	調査頻度
・干潟・浅場を保全する海域（多面等ソフト事業、公共事業）	・干潟・浅場を保全する海域（多面等ソフト事業、公共事業）	・干潟・浅場面積 ・対象水産物の生息量 ・底質	・年1回以上
・海域全体	・海域全体	・干潟・浅場面積	・5年に1回以上

目 標

藻 場	H18～H21調査	R3推定	中期（R8）	長期（R13）
藻場面積（趨勢地）	345ha	345ha	345ha（226）	345ha（226）

干潟・浅場	H4調査	R4推定	中期（R8）	長期（R13）
干潟・浅場面積（趨勢値）	84ha	84ha	84ha（84）	84ha（84）
アサリの漁獲量（趨勢値）	0トン	0トン	1トン（0）	5トン（0）
アサリの生息量（趨勢値）	－	120トン	30トン（0）	30トン（0）
漁場面積（趨勢値）	－	2.8ha	0.7ha（0）	0.7ha（0）

※趨勢値：今後対策を行わない場合に推定される将来の面積の値